

千港振 2 1 号の 2
令和 6 年 9 月 1 3 日

千葉港振興協会各会員 様
千葉港振興協会各役員 様

千葉港振興協会会長 神 谷 俊 一

令和 6 年度他港視察研修の実施について（ご案内）

当協会の事業推進につきましては、日頃から格別な御支援と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修を 11 月 21 日（木）～ 22 日（金）の予定で進めておりましたが、視察受け入れ先の業務の都合により下記の日程に延期することとなりました。

つきましては、改めて参加募集をさせていただきますので、参加を希望される場合は、別紙申込様式により 10 月 4 日（金）までにメールまたは FAX により御回答くださいますようお願いいたします。

記

- 1 視察先 仙台塩釜港（国際拠点港湾）
- 2 日程等 令和 6 年 12 月 1 日（水）～ 12 日（木）
別紙の概要のと通りの予定ですが、詳細については、参加者が決まり次第追って連絡します。
- 3 参加費 1 人当たり 57,300 円程度
参加人数により変更する場合があります。

問合せ先
千葉港振興協会 事務局 由利 聡
Tel 043-246-5201 Fax 043-238-0648
Eメール info@chibakousinkou.com
携帯 090-2246-1317

令和6年度千葉港振興協会他港視察研修概要

1 視察先と概要

仙台塩釜港(宮城県)

中核国際港湾、国際拠点港湾、特定港、開港、出入国港、検疫港

宮城県仙台市宮城野区、多賀城市、七ヶ浜町にまたがり、太平洋に開けた仙台湾に面して位置する港湾施設の通称。

港湾法上の港湾区域では仙台塩釜港の一部にあたる「仙台塩釜港仙台港区」である。

また、港則法上の港区では仙台塩釜港のうち「仙台塩釜港仙台区」にあたる。

地元では建設当時の通称「仙台新港」やその略称「新港」とも呼ばれる。

港湾管理者は宮城県。

1964年(昭和39年)の仙台湾地域の新産業都市指定を機に、多賀城海軍工廠(占領期は進駐軍「キャンプ・ローパー」)の跡地や周辺の低湿地に臨海工業地域を形成する目的で砂浜を掘り込んで建設された。

その後、商港としての機能を付加して1971年(昭和46年)に開港した。

1991年(平成3年)に国際貿易港として整備計画が決定し、商港としての機能が拡充されていったため、仙台都市圏の外港あるいは宮城県および東北地方の物流拠点となっている。

2 視察内容

(1) 仙台港区分洋地区埠頭再編事業及び仙台港CY情報ネットワークシステムについて
千葉港においてはコンテナ貨物と完成自動車の混在、船舶の大型化への対応のため、コンテナバース及び背後の荷捌き地の拡充および再編を進めていることから、埠頭再編事業と情報ネットワークについての視察。

(2) その他

港湾機能強化の取り組みや震災後の復興状況等についての視察。

3 日程等 令和6年12月11日(水)~12日(木)

- 往復新幹線、現地貸切バス使用で、宿泊はシングルルームを予定しています。
- 原則東京駅解散ですが、仙台駅解散希望の方にも対応させていただく予定です。

第1日目(12月11日(水))										
東京駅	⇒	仙台駅	⇒	(昼食)	⇒	仙台塩釜港(視察)	⇒	ホテル	⇒	夕食
10:03		11:39		12:10~12:45		13:30~16:00		16:45		18:00
第2日目(12月12日(木))										
ホテル	⇒	瑞鳳殿	⇒	みやぎ東日本大震災津波伝承館	⇒	(昼食)	⇒	仙台駅	⇒	東京駅
9:00		9:20~10:20		11:40~12:40		12:50~13:30		15:29		17:04

行程は現段階の案であり、変更になる場合があります。